

硬病院

HOSPITAL NEWS

2017年 8月

発行所 せたな町立国保病院
 発行責任 患者サポート委員会
 〒049-4501 せたな町北檜山区北檜山378
 TEL0137-84-5321
 せたな町立国保病院ホームページ
<http://www.town.setana.lg.jp/hospital/>

せたな町立国保病院から
お知らせ

この度、病院便り16号をもちまして休止させていただくことになりました。これまで、病院だよりを楽しみにしていただき、ありがとうございました。ご迷惑をおかけしました。



せたな町マスコットキャラクターセターナちゃん

森院長の一言

「いのちの苦しみ」
 バイタルサイン（生命兆候）とは血圧・脈・呼吸のことをいいます。痛みを第4の兆候としてあげる方もいます。痛みで死ぬことはないといいますが、この痛みが続くなら死んだほうがいいという言葉はしばしば聞かれます。痛みの中でもスピリチュアルペインは厄介です。自分の存在が失われていく恐怖、親しい人と離れる不安。患者さんには宗教的支援を受ける権利が保障されています。せたなの宗教家の方々の力をかりながらこの厄介なスピリチュアルペインを和らげたいというのが私の願いです。

患者満足度調査へのご協力

ありがとうございます。ありがとうございました。

平成29年5月15日から6月30日の間、外来・入院の患者様や御家族、施設スタッフ95名の皆様に御協力いただいた調査の結果がまとまりました。

病院を利用された皆さまへの対応で不快な思いをさせてしまった点も多くあり反省しております。いただいた貴重なご意見を真摯に受けとめ、今後も病院職員一丸となった接遇向上への取り組みを継続していきます。

下に掲示しておりますのでどうぞ御覧下さい。また、たくさんのお褒めや励ましのメッセージをありがとうございました。調査は終了しましたが、今後もお気付きの点がございましたらどうぞご指摘ください。

ご意見箱が正面玄関にごございます。また、お近くの職員までお気軽にお声掛けください。

接遇向上委員会 一同

うれしいご意見♪

- ▽いつも色々な事に気を配って下さってありがとうございます。
- ▽（建物が）古くても医師と看護師がいいので大丈夫です。
- ▽外来の看護師さんは親切ですね。
- ▽病棟のスタッフは皆さん一生懸命で好感が持てます。
- ▽八雲に行こうとしていた友人を引き止めてこちらの病院を紹介しました。
- ▽訴えたことをすぐ検査してくれて良かった。
- ▽おかずがおいしい。あちこち入院したがここが一番いい。
- ▽とくに女性スタッフは笑顔が可愛くてステキです。体に気をつけてファイトです！

アンケート用紙の文字が小さく記入の際に御不便をおかけした皆様には委員の聞き取り調査を行いました。調査方法や内容に関しては今後の課題とさせていただきます。



7月22日（土）14名のインストラクターを招き、日本救急医学会が認定するICLS講習会が、せたな町健康福祉センターで実施されました。

一人の患者様が多くの疾病を抱える高齢化の時代が到来し、医療現場では様々な救急疾患に対する事が求められるようになっていきます。

当院でも、心肺停止状態や重症疾患で救急搬送されてくる患者様は少なくありません。

心肺停止状態に陥った場合、3〜5分以上経過してから自己心拍が再開したとしても、脳障害が生じるとされています。専門医を待っている時間の余裕はなく、患者様は治療をしなければ死に至ります。

ICLS講習会に参加して



ICLS とは…

「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語で、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。

日本救急医学会ホームページより

夜間診療

火曜日・木曜日

*内科は第1・3木曜日のみ

【受付時間】

午後5時30分～7時まで

看護師 丸山 艶子

患者サポート委員会の役割と新たな取り組み

内科医の退職が続き現在、常勤内科医1名と出張医で1カ月の内科担当表が配布されています。

患者様から、「これからどの先生にかかればよいか…」と不安な声。「若い先生だから色々な所に行って勉強するために辞めちゃうんだろうね。予定表みてもわからない先生ばかりでどうしたらいいのかわからない…」と戸惑いの声。

こういうときこそ、医療スタッフや患者サポート委員会は皆さまの声に耳を傾け、これからも安心して受診していただけるようサポートさせていただきます。

皆さんは、病院に受診される時、先生や看護師に伝えたいこと、相談したいことがあっても、いざ診察室に入ると言いづらくなったり、忙しそうにしている声をかけれないという経験をしたことはありませんか？

多くの人は、病院で治療を受けたり薬を処方してもらって安心するのではなく、疑問や不安が解決して初めて安心できるものです。

患者サポート委員会は、患者様からの苦情や相談窓口でもありますが、患者様が伝えたいこと、相談したいことを伝えられるようきっかけをつくり、橋渡しをする役割りでもあります。

また今後、患者サポート委員会では新たな取り組みとして、ご自宅へ退院された患者様へ電話連絡をさせていただくことを考えています。

退院されたあとの体調や生活状況を確認し、必要がある場合は外来受診や再入院を検討し、高齢者や一人暮らしの方が安心して生活できるようサポートさせていただきたいと考えております。

せたな町立国保病院看護部

◆ 病棟紹介

病棟には現在、看護師長1名、看護副部長2名、看護師23名、看護助手10名、クラーク1名のスタッフがおります。
ナースステーションを中心に、一般病棟と療養病棟に分かれており、勤務は2交代です。日勤は、平日では看護師9名と助手1名、夜勤は看護師3名と助手1名で勤務しています。入院患者様は平均40名前後で、他部門と連携しながら看護ケアを行っています。チームワークと情報共有を大切にし、患者様やご家族が安心して治療・療養ができる環境づくりを心がけています。
慣れない環境での入院生活には多くのストレスがあると思います。入院前の生活習慣や、こちらに配慮してほしいことなど、要望があれば遠慮なく看護師にお声掛けください。
(副看護師長 荻島)

◆ 外来紹介

当院の外来看護部門では、一般内科、整形外科、循環器内科、産婦人科、神経内科外来に加え、内視鏡検査を行っております。患者さんの病状に合わせ適切な看護ケアが提供できるよう、看護師が各診療科目で働いています。それぞれ各科に担当看護師がおりますので、お困りのことがありましたら気軽に相談ください。
また、『いつも笑顔で』心がけています。が、忙しさと緊張感でついお見苦しい顔を見せてしまうこともあるかもしれません。そんな時は遠慮なく意見いただき、今後の外来スタッフの質の向上につなげていきます。患者さんやご家族の方が、安心して御自宅で療養生活を送れるよう外来スタッフ一同継続的な支援をしたいと考えています。
(副看護師長 禿)

患者サポート委員会

- 広田 看護師長
- 鈴木 看護副部長 (病棟)
- 荻島 看護副部長 (病棟)
- 禿 看護副部長 (外来)
- 大津 相談員 (地域医療連携室)
- 白岩 外来看護師 (医療対話推進者)
- 伊藤 事務局医事係 (医療対話推進者)

平成29年6月、7月

相談	3件
苦情	2件

患者サポート窓口

病院1階 地域連携室

<受付時間>

月・水・金	8:30~17:15
火・木	8:30~19:00

患者満足度調査でご希望のあった、玄関前の階段に手すりを設置いたしました。



平成27年2月より町内の全戸へ配布を始め町民の皆様にご覧いただいた「病院だより」ですが、今回の配布をもって終了することとなりました。
病院としては新たな取り組みでしたが病気への知識を広め、病院の活動や職員の紹介記事に目を通していただくことで、町民の皆様にとって当院が、より身近なものに感じていただけたら幸いです。
「病院だより」は終了いたしますが、今後は来院した際に気軽に声を掛けていただければ職員一同が誠意をもってお応えいたします。
短い間でしたが「病院だより」を愛読していただきまして、ありがとうございます。(鈴木)

編集後記

みなさまはどんな夏を過ごされましたか？
第5回目となりましたが、皆様のご協力もあり無事に終えることができました。スタッフ一同ホッとしているところです。
来年度も開催することが決まりましたら、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

ご自宅に、まだ使用できるけど不要になった歩行器やシルバーカーなどがありましたら、病院へご連絡ください。寄付いただける場合は、病院から引き取りに伺います。